

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 「高齢者における腰痛が歩行速度へ与える影響に関する縦断研究」
	●研究の対象 2018 年と 2024 年に東栄町運動器検診を受診した方のうち、2018 年に 60 歳以上であった方 108 名
	●研究の目的 高齢者が自立した生活を継続し、「80 歳で外出できる」身体機能を保つためには、歩行能力の維持が重要です。中でも歩行速度は、身体的・社会的活動の指標として知られ、要介護予防や健康寿命の延伸において中心的な指標の一つとされています。 一方で、腰痛は高齢者に高頻度に見られる愁訴であり、慢性的な疼痛は身体活動の制限をもたらし、歩行機能の低下に影響を及ぼす可能性があります。しかし、腰痛と歩行速度との関係を縦断的に評価した研究は限られており、その因果関係や背景要因については明らかでない部分が多いです。 本研究では、「腰痛が歩行速度に影響する」という仮説のもと、2018 年と 2024 年の 2 時点で得られた高齢者の検診データを用いて、腰痛の発生・持続と歩行速度の変化との関連を検討します。さらに、腰痛の背景にある可能性のある脊椎アライメントや椎体骨折といった構造的因子についても補助的に分析を行い、腰痛による身体機能低下の予防や介入の方策を検討するための基礎資料とすることを目的としました。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2026 年 12 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	●他の機関に提供する場合には、その方法 東栄診療所から浜松医科大学にデータの提供が行われます。提供方法は、CD-Rで行います。データには個人を特定できる情報は含まれません。特定の個人を照合するための情報は、提供元で保管・管理します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 ○背景因子：年齢、性別、身長、体重、BMI ○運動機能：握力、歩行速度 ○画像初見：脊椎パラメーター、形態学的椎体骨折の有無、すべり症の有無、骨密度 ○アンケート調査：3か月以上継続する腰痛の程度、EuroQol 5-dimensions(EQ-5D)、Oswestory Disability Index(ODI)
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関： 浜松医科大学医学部附属病院整形外科 診療助教 井出浩一郎 既存試料・情報の提供機関： 東栄診療所 丹羽美和子
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 整形外科学講座 担当者： 井出浩一郎 TEL： 053-435-2299